



# 令和4（2022）年度 郡山市市民活動推進顕彰事業 「まちづくりハーモニー賞」 受賞者紹介

## まちづくりハーモニー賞とは

協働のまちづくりを推進するため、地域の特性や市民の力を生かした創造性豊かな地域づくり活動や、波及効果が期待できる市民活動を行い、魅力と活力あるまちづくりに先導的・先進的な役割を果たしている方を表彰する制度です。受賞された皆さんの活動は、SDGs「持続可能な開発目標」のゴール達成にも寄与しています。



表紙の写真：三穂田町大谷のアヤメロード(令和3年度まちづくりハーモニー賞受賞団体「美環大谷会」が植栽・整備をしています)

## 市民活動実践部門 (五十音順)

### あぶくまレインボー陸上クラブ

障がいを持つ人が、支援学校卒業後も運動する機会や職場以外での人間関係を持ち、健康で生き生きと生活できることを願い、平成 30(2018)年から活動を始めました。障がいの有無や年齢に関わらず誰でも参加でき、陸上以外にも多様な協力者と共に季節の行事などを楽しんでいます。活動の様子は SNS で発信し、誰もが暮らしやすいユニバーサルデザインのまちづくりに貢献しています。

#### 【審査委員コメント】

陸上だけでなく活動の幅を広げているのが良い。障がいのある方、ない方の交流はユニバーサルな社会を目指す上で重要です。協働のパートナーを増やしてほしい。



ダッシュ!

### 月刊タウン誌街の灯こおりやま

平成 30(2018)年から月刊タウン誌を発行し、郡山市の伝統文化やイベント、福祉、健康、子育て、地域の NPO 紹介など、幅広い分野の情報を発信しています。知っているようで知らなかった郡山を再認識し地元愛を深めてもらえるような情報や、社会的課題に対して専門的な知見のある寄稿を掲載し課題解決につながるきっかけを提供するなど、情報発信者の立場から協働のまちづくりに貢献しています。

#### 【審査委員コメント】

市民の声をもとに作り上げられるタウン誌で、まちの情報や地域課題など市民にとって有益な情報を届けてくれています。今後もぜひ継続してほしい。



子どもたちの絵や写真を表紙に

### 郡山ふるさと田舎体験協議会

平成 22(2010)年から、逢瀬町・湖南町を中心として「田舎」ならではの安全・安心な農業体験や自然とのふれあい、農家民宿などのグリーン・ツーリズム事業を行っています。キャンプや山歩き、農作物の収穫体験、地域の伝統料理や工芸品作りなど、参加者の様々なニーズに応えながら、農業や農山村への親しみを持つきっかけを提供し、首都圏や市内外に向けて郡山市の魅力を発信しています。

#### 【審査委員コメント】

グリーン・ツーリズムの可能性がますます広がり、郡山市のインバウンドや観光誘客に大きな力となると期待します。ぜひ多くの農家を巻き込んで継続してほしい。



自然の中でキャンプ体験

### 旅の書会

和紙の原料の楮(コウゾ)を活用し、成分分析から加工、製品化・販売まで行う新たな取り組みを令和2(2020)年から始めました。地域の菓子店や社会福祉施設、料理家などと協働し、お茶や和洋菓子などを開発・製品化したほか、郡山市海老根地区を始めとした福島県内の和紙の里同士の交流を促進し、協力体制の構築に取り組んでいます。伝統文化と食をつなぎ、新たな魅力の発掘と地域の活性化に貢献しています。

#### 【審査委員コメント】

伝統産業という難しい領域で時代の変化に合わせた新たな魅力づくりや持続可能性を追求した活動で、素晴らしい。和紙の里同士の交流・連携にも期待します。



コウゾの葉を練りこんだクッキー

## 夏出重要文化財・天然記念物愛護会/有限会社フルカワ産業

郡山市逢瀬町夏出の天然記念物「夏出の大キャラ」の保存のため、愛護会が周辺清掃や草刈り等を長年に渡り継続しています。令和3(2021)年2月の福島県沖地震により大キャラが倒木した際には、愛護会と(有)フルカワ産業が協働して倒木の引き起こし、根の埋め戻し作業を行い、修復・再生につなげました。地域住民と企業が一体となり文化財の保存・継承と郷土愛の醸成に貢献しています。

### 【審査委員コメント】

愛護会の長年の活動は模範的ですばらしい。さらに企業との協働により、保存が危ぶまれた天然記念物の修復に至った貢献は多大。次世代の育成、協働の継続を期待します。



修復された「夏出の大キャラ」

## 農事組合法人布引高原野菜生産組合

湖南町の布引高原の風力発電所整備をきっかけに、平成19(2007)年に始まった「風の高原フラワープロジェクト」のヒマワリ・コスモスの栽培管理を担っています。開花盛期には、広大な土地にヒマワリ約120万本、コスモス約45万本が咲き誇り、訪れる人の目を楽しませています。郡山市を代表する美しい景観地として定着し、様々なメディアやSNSで紹介されるなど、市内外からの観光誘客や地域の活性化に貢献しています。

### 【審査委員コメント】

布引高原の季節ごとの景観は、今や福島県が誇る自慢の景色。魅力あるまちづくりへの影響・貢献は大きく、すばらしい。これからも継続を期待します。



高原に咲くヒマワリ

## ハーベストカフェ

シニア世代が地縁や仕事に関係なく地域とつながる場をつくろうと、令和元(2019)年に活動を始めました。茶話会や、介護・健康など様々な講座での学び、経験や知識を生かした地域貢献などを企画・運営しています。令和4(2022)年には、古民家を活用して多世代交流事業も始めました。ウェブサイトやSNS、通信紙で情報発信を行うほか、拠点とするコワーキングスペースの利点を生かして若い起業家とも交流し、アクティブシニアとしてまちづくりに積極的に参画しています。

### 【審査委員コメント】

学ぶだけでなくアウトプットし、コワーキングスペースの活用や多世代交流など、新たな視点で他との差別化に挑戦しているのが良い。さらなる発展を期待します。



薬局の方を講師に健康講座

## 発達障がい児・凸凹発達児子育てサポート Lino

自閉症や発達障がいの正しい理解を広め、孤立した育児の解消を目的に、平成30(2018)年から活動を始めました。同じ悩みを持つ親同士がつながり、情報交換や相談、イベント企画・運営を通して共感の場となり「孤育て」を解消しています。子どもの発達支援や親子イベントなども実施し、様々な団体と楽しく協働することで、障がいに対するイメージを向上させ、多様性を理解し共に生きる社会づくりに貢献しています。

### 【審査委員コメント】

当事者発信で偏見や差別をなくすための取り組みで、SNSやイベントで活動を展開しているのが「今どき」で親しみやすい。広域の活動などさらなる発展を期待します。



月に1回のママ会で情報交換

# 市民活動実践部門

## フレンズクラブ



久留米地区のソフトバレーボールクラブのメンバーで、平成 17(2005)年から自主的に資源回収活動を行っています。毎月 3 回、ソフトバレーボールの練習後に地区の店舗等に出向いて段ボールなどの資源物を回収し、ごみ減量の推進や意識啓発、地域と企業の連携促進に貢献しています。趣味のソフトバレーボールと組み合わせることで、楽しく無理なく継続し、地域活動の充実にもつながっています。

### 【審査委員コメント】

長年の継続が素晴らしい。地域愛の深まりや地域活動の充実のため、他の町内会等でも参考になりそうな取り組みです。



練習後に店舗の段ボール回収

## 青少年部門

### 東京農工大学農学部附属硬蛋白質利用研究施設



平成 29(2017)年から、西田町の廃校施設を活用して小中高生へのサイエンススクールを実施しています。子どもたちが科学への興味や理解がより深められるよう、学生がカリキュラムや資料を考案し、身近な野菜などを使って科学の面白さを伝えています。子どもたちにとって、大学教授や現役学生から授業を受けるという、日頃体験できない貴重な機会となっています。地域住民も事業に協力し、地域活性化にも貢献している取り組みです。

### 【審査委員コメント】

専門性を地域に還元する取り組みで、先進的です。大学教授や大学生と子どもたちが交流できる機会は貴重で、ぜひ継続して多くの児童生徒に参加してほしい。



学生が先生になって科学実験

### 【審査委員】郡山市市民協働のまちづくり推進協議会 市民活動推進顕彰事業専門部会

- 部会長 三部 香奈 (一社)グロウイングクラウド代表理事 (敬称略)  
千代 貞雄 (特非)メディア・ユニバーサルデザイン協会会員  
小林 直輝 (特非)ビーンズふくしま、(特非)こおりやま子ども若者ネットワーク  
中潟 亮兵 郡山逢瀬ふじみ野 net 文京スマイル代表、おおせのとおり  
古川 聖子 公募委員

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

